



ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093 (201) 0680 FAX (201) 7354
第 322 号

友との交わり・イエスとの交わり マヘル神父

3月10日、阿南教会のシルバー神父様のお見舞いに徳島に飛んで行きました。彼は癌を患って入院して丁度その日退院しました。

行く時に何を話そうかと考えて、彼が疲れるから長い時間いる事が出来ないと思いながら部屋に入りました。短い時間でしたが思ったよりいいお見舞いが出来ました。

実は50年以上のおつき合いなのでもっと深い話や思い出など話したいと思いましたが出来ずとても心残りでした。シルバー神父は神様から頂いた恵みには感謝しか出来ないと話されました。それを聞いて私は感動しました。

帰途、四旬節とからしだねの記事について考えました。今年の聖週間と復活はもっとイエス様との交わりあいを体験すれば、シルバー神父とのつきあいと同じようにその交わりが大事ではないかと考えました。

ところで聖週間の典礼は、四世紀末のエルサレムで特に盛大に行われていました。人々は、キリストの受難の出来事を、伝えられているとおり、できるだけ忠実に記念しようとし、その日、その場所に集まり、その時の出来事を朗読して祈りました。それは非常に印象的な典礼で、実際に体験した巡礼者たちが各地に伝えたこともあって、聖週間の典礼は次第に全教会で行われるようになりました。

実際にその場所ではなくても、聖週間の典礼を行うことで、私たちは主の受難と復活の出来事を記念し、今、キリスト者の集いのうちに現存しておられるキリストと共に、神を賛美し、感謝をささげることができるのです。

今年新たに聖週間の典礼でイエスとの交わりを深めましょう。

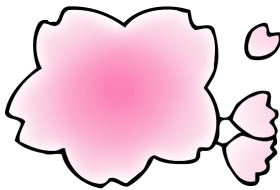
枝の主日には枝を手にとってキリストを迎え、天には神にホザンナと歌いましょう。

聖木曜日には洗足式を行い、主の晩さんのタベを迎え、ゲッセマニのイエスと心を通わせながらミサの終わりには安置された御聖体と共に少しの間時間を過ごしましょう。

聖金曜日にはイエスの御受難を黙想しながらイエスの深い愛を悟りましょう。

復活祭には新しい共同体に向かって自分の洗礼を思い起こし、回心し、復活されたイエスに出会いましょう、墓はからっぽでした、なぜならイエスは生きておられるからです。

水巻教会の子どもたちへ	2・3面
フランコ神父講話	3・4・5面
委員会等報告	6面
ペルーからの手紙	7面
今月の聖人	7面
おしらせ	8面
教会学校のページ	8面



みずまききょうかい こ てがみ まね
水巻教会の子どもたちへの手紙 (パウロの真似)

とよた たかのりしんがくせい
豊田 貴範神学生



すこ ねんれい さき にんげん みらい あゆ みな ねんかん わたし つたな はなし つ
少し年齢の先にいる人間として、未来を歩む皆さんに。1年間、私の拙い話に付き
あ みな すなお にんたい すこ みなら おも
合ってくれてありがとう。皆さんの素直さと忍耐を、少しでも見習いたいと思います。

きょうく おかしんぶさま かた なが あいだ きょうかい ひこうしょうねん せ わ
さいたま 教区に岡神父様という方がいて、長い間、教会で非行少年たちの世話を
なさってきました。岡神父様は彼らを教会で住ませる代わりに、聖書を読むことを義務
おかしんぶさま かれ きょうかい す か せいしよ よ ぎ む
として与えました。その箇所は、新共同訳では続編と言われる「知恵の書」と「シラ書」、
きゅうやく しんげん さんかしよ しんじや ひと ひと
旧約の「箴言」です。なぜ、この三ヶ所なのかというと、信者でない人も「人としてど
う生きるべきか」ということへの一つの指標になるからです。

ひと い どうじ きょうしんじや い もんだい
人としてどう生きるか、同時にキリスト教信者としてどう生きるかということが問題な
のです。長崎の古い教会では「十戒」と「公会堂の6つの掟」を暗記させると聞いたこ
とがあります。場所によっては「稽古」と呼んで、学校の帰りに教会へ寄って勉強した
ようです。十戒や6つの掟はわからなかったら、家族か神父様に聞いてみるといいでしょ
う。

きょうかい こじん りょうしん そんちよう りょうしん せいしよ きょうかい
カトリック教会は個人の良心を尊重します。しかし、その良心は聖書や教会に
よって学ばなければ、あやま こころ そだ きけんせい いま りかい
誤った心が育ってしまう危険性があるのです。今は理解できなく
ても、大人になって理解でき行動の支えとなります。良心は、聖書と信仰によって養わ
れるのです。ぜひ、上の三ヶ所を聖書で読んでみてください。神は人間が神の子として自由
うえ さんかしよ せいしよ よ かみ にんげん かみ こ じゅう
に生き、救われるために十戒を定めました。また、教会はこの地上で天の国を実現する
い すく じっかい さだ きょうかい ちじょう てん くに じつげん
努力のために掟をつくりました。どちらも義務ではなく、神との関係のうちにより良く生
きるためです。

むすか はなし い だいじ
また難しい話になってしまいました。でもどう生きるかということは、とても大事なこ
とです。相手や皆に流されることなく、自分が正しいと思うこと、間違っていると思うこ
とをしっかりと伝える人になってほしいと思います。好きなことだけでなく、嫌いなことも、

おおいに楽しんでください。そのためにカトリック教会に関心を持ち、いろいろな本を読んでください。義務教育を卒業したからといって、漫然と高校生活や大学生活を送らないように。以上は、実は自分ができなかったことです。でも小さいころ言われてきたことでもあります。勉強は大事、本は読んでおけ、英語は大事だなどなど。

最後に私が好きな言葉を皆さんに送ります。「What doesn't kill you makes you stronger」というニーチェの言葉(元ドイツ語)です。「あなたを殺さないものがあなたをより強くする。」つまり「どんな困難でも乗り越えれば、さらにあなたは強くなる。」「どんなに辛く、苦しくても、それがあなたをより強くする。」という意味でしょう。しかし、信者であるならば、ちょっと足りません。死すらもあなたを成長させるのです。復活を信じる私たちは“超”ポジティブな約束を頂いているのです。「艱難辛苦 汝を玉にす」ともあります。嫌いなことも楽しんでください。皆さんの善い成長を願っています。



北九州信徒協・典礼部会研修会
フランコ=ソットコルノラ神父講話

2月16日、北九州信徒協・典礼部会研修会が、真命山別院のフランコ神父を講師として行われ、タイトルは、典礼憲章の要点とミサの意味 一深く意識すべきこと一、でした。私は、講話内容が公文書制定やミサの方針改革の様なものと予想していましたが、それは間違いで、典礼公文書を基調としつつ、その底流に流れるキリストの愛の行い、旧約にみられるキリストの行いの前兆など、すべてが心で観ずるものでした。

研修会の現場では、フランコ神父の信仰に裏打ちされた「熱い講話」によって、誰もが感銘を受けましたが、書き物にすると難解となる様です。それゆえ以下では、できるだけ文脈を選択して、書きます。なお、講話では、典礼憲章の各項ごとに、原文を挙げられ、それに対する解説が繰り返されました。

典礼憲章 第2項

典礼によって、なかでも、感謝の祭儀の神聖ないけにえにおいて、「我々のあがないのわざが行われる」・・・。

「感謝の祭儀」とはミサ自体を指します。ミサはエウカリスティアとも言う。エウカリスティアはそもそもイエスの最後の晩餐で、パンを取り、感謝の祈りを捧げた、聖体のことを指すが、後に、エウカリスティアがミサ全体をも指すようになった。

「いけにえ」とは？ いけにえとは驚くべき言葉；イエスはご自身を奉献された；イエスは、血を流し、生命を捧げた。そして「贖い(あがない)のわざ」とは、救いのわざが行われ、私たちは罪の死から救われるということ。

この第2項は長いが、結局、救いということでまとめられ、同様の内容を含む、第5項に移る。

典礼憲章 第5項

神は、「すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられ」、「かつて、預言者たちによって、・・・先祖に語られた」

ここからは、救いについてが中心となり、特に、旧約における前表(前もっての表象)が、強調された。

現在、"Pachale" の日本語訳は「過ぎ越し」だが、これは、たった50年前に翻訳によって登場したものだ。

出エジプトでは、民がエジプトで奴隷となり、男の子まで殺せと言われた。神は哀れんでモーセを通して神の民として救った。旧約の証しとなったものが「過ぎ越し」。この意味は、人のそばに寄り添う、会う。ひいては、神が人々を救う、という心の温まる意味。(講話では、この後、映画「十戒」の話となりました。「映画では、聖書にはない話：モーセが番兵を殺し、逃げてゆく」という挿話も入れられた。但し、逃げたモーセは、妻を得るが、後には妻子と別れ、イスラエル人を救うべく、エジプト王国に戻る。そして、あの過ぎ越しの場面に。)

(典礼憲章5項、続き) 人間を贖い・・・栄光を帰するこのわざは、旧約の民における神の偉大な働きの中に前触れとして現われているが、主キリストはこのわざを、・・・受難、・・・復活、・・・という過ぎ越しの神秘によって、成し遂げた。

エジプトから脱出したユダヤ人は、喜ばしい天と地、新たな世界に來たと感じた(2回目の天地創造であるかの様に)。イエスの死と復活で、その「新たな天地の到来」が、もう一度來た。(3回目の天地創造ということに。)

第8項(地上の典礼と天上の典礼)

地上の典礼において、我々は天上の典礼を前もって味わって、これに参加している。天上の典礼は、旅するわれわれが目指す聖なる都エルサレムにおいて捧げられており・・・。

この部分が始まる時、フランコ神父は、いきなり「天国に行きましょう」とのセリフで始めら、これまで難しい話に固まっていた聴衆は一挙にリラックス。「典礼を神との出会いとして深く体験すれば、天国を前もって味わうことができる(for-taste)。私たちの属するローマ様式では、ミサとは、「地上にいる私たちは、司祭を通して、キリストが私たちのもとに來

られる。特に聖変化の折りに。」と考える。

しかし、ビザンチン様式（ギリシャ正教会）では違う。その聖堂に入ったら、目に入るのはイコン（聖画）の描かれた壁。壁には3つのドア。ミサはこの壁の後ろ（ここが天国）で行われる。司祭たちは行列して、あるドアから出て、別なドアに入る。3時間も続くミサで、天国で行く気持ちになる。神様がここに下られるのではなく、私たちは、しばらく、天国で行われる、まことの典礼に参加するように天国に上げられる。

【執筆者・三谷は3月上旬、偶然、東京・お茶の水のギリシャ正教のニコライ堂の聖堂内を拝観しました。なるほど聖堂の前方と信者席は、美しい壁で仕切られ、壁の向こうは「至聖所」というらしい。壁にはそこを行き来する1つの中央の入り口と脇の2つのドアがある。なお、解説していた信者の方からは、カトリックはあまりに簡素化されたと言われ、そう言われたらそうだと思います。（写真参照）】



東京・ギリシャ正教ニコライ堂
聖堂内の壁の向こうは至聖所

最後に、フランコ神父は重要な次の話をされた：公会議前では、司祭がキリストを表しているとして、ミサをささげた。現在、公会議後では、会衆がみんな参加、「会衆が中心」とされている。

しかし、公会議において、行き過ぎもあった。ミサの中心となるのは、司祭でもない、会衆でもない、イエス・キリスト。司祭を強調する事も、会衆を強調する事も、どちらでも、キリストを忘れることに繋がる。典礼の主体は、キリスト。そうしない限り、私たちはつまりずき、退屈なミサとなる。

直接、フランコ神父の講話を聞いた人は、イタリア語なまりがあっても、その熱心で敬虔な語り口に、感銘を覚えたことを申し上げておきます。

委員会等報告

2014年3月分

3月度小教区委員会

3月9日

1. 前委員会の議事録確認

- ・地区集会

新地区委員選出・教会外装工事について

2. 先月の行事報告

- ・2月16日(日)～3月2日(日)3週間

地区集会

- ・3月5日(水) 灰の主曜日

ミサ9時30分・19時30分

3. 議題

地区集会の内容について

各地区から出た意見を抜粋して掲載

●外壁工事のことについて

- ・工事をすることは賛成だが、知識のある人を募り、部会を新たに作ってはどうか。
- ・見積もり業者をもっと増やしては？
- ・以前あった教会建設基金のようなものを復活させては？月500円程度。

●新役員の選出について

- ・新地区役員が揃ってから、そのメンバーで話し合っ欲しいとの意見があった。
- ・地区によっては、副委員長・財務委員についての具体的提案があった。

●その他意見

- ・巡礼旅行があれば参加したい。
- ・花見・旅行・バザー・ケルメス等して欲しい。
- ・復活卵を教会で用意して欲しい。
- ・地区集会を年3回位して欲しい。
- ・高齢の方が増えてきて、教会に来られない人がいる。
- ・聖歌の練習では、解説をなくし、歌う時間の方を増やして欲しい。

- ・地区の中で、教会にいられている世帯が4～5世帯のところがある。地区の再編を考えてもいいのでは。赤間地区からは、当地区の再編は妥当ではないとの意見。

4. 各委員会

●典礼委員より

- ・4月13日(日)枝の主日は一階から行列を作り2階へ上がる。
- ・聖木曜日は洗足式を行う
- ・聖水を信徒に配る

●外壁工事に関して経過報告

- ・教区の方から3社以上から見積もりを取るよう言われ、そのようにしている。
- ・よく知っている会社にも依頼をとの意見もあった。
- ・外壁工事に関し詳しい人を、自薦・他薦問わず集め新しい部会を作ってはどうか。委員会でも数名の名前が挙がった。

●クリストフォールより

参加出来る方をお願いしたい。

5. その他

- ・4月から新しい神学生が来る。
- ・3月30日ミサ後小笠原知子さんの講演。

6. これからの活動

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 4月17日(木) | 聖木曜日 | 19:30～ |
| 4月18日(金) | 聖金曜日 | 19:30～ |
| 4月19日(土) | 聖土曜日 | 19:30～ |
| 4月20日(日) | 復活の主日 | 10:00～ |
| 4月27日(日) | 納骨堂利用者集会 | |
| 5月11日(日) | 信徒総会 | |

カトリック水巻教会・レプトン会のみなさまへ (ペルーからの手紙)

あなたの息吹を受けて私は、新しくなる(詩編)

2014年の新しい門出を神様の豊かな祝福の中でお過ごしのことと思います。

先日、日本管区本部より水巻カトリック教会レプトン会からペルーでの宣教活動のために37万円の支援金を頂いたとの嬉しいニュースを受けました。水巻カトリック教会の皆様方の寛大な御厚意に心からお礼申し上げます。頂いた支援金は、スラム街にあるマリア・タキ保育園の児童達の給食費、食堂の運営・管理費などに使用させて頂きます。日本大使館からの援助で、カリタス・ペルーが建築を請負って建築された保育園では、日毎の糧を求めて日雇いで働いている保護者達が安心して働けるよう子供達を預り、全人的教育を目指して保育をしています。昨年の中旬にフェンスで園舎を囲み、落成式を行いました。その後、新園舎での保育が始まり、少しずつ園児が増えてきています。2014年度は、特に2,3歳児が増え、保育園の将来に明るい希望の光が差し込んで来ているように感じます。水巻カトリック教会レプトン会の私達の宣教活動に対しての温かいお祈り、ご理解とご支援に支えられて、スラム街の子供たちとその家庭に神様の愛の証を続けることが出来ています。どうぞ、今後とも宜しくお願い致します。

この度、7月から9月にかけて、シスターマリア・ステッラ小林が会議参加などのため日本に旅行する事になりました。その期間中に、お礼と現状報告を兼ねて皆様方を訪問させて頂く予定ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

水巻カトリック教会の信徒の皆様方一人お一人の祈り、犠牲が子供たちに明るい希望をもたらしてくれることでしょう。皆様方のために、子供たちと共に感謝の祈りを捧げます。

小さな貧しい私達が毎日の宣教生活で、ご聖体に現存されておられるキリストの愛に目覚め、聖性を目指して信仰の喜びを会おう全ての人に証し出来ますように、お祈り下さい。

祈りと感謝をこめて！ 2014年2月20日

イエスのカリタス修道女会・リマの聖女ローザ準管区

管区長 シスターテレジア川端キヌエ

今月の聖人

9日 聖マダレナ・カノッサ 1774年-1835年

マダレナは、イタリアの貴族の家に生まれる。17歳のときにカルメル修道会に入会したが、貧しい子女のために教育をすることの必要性を感じて修道会を去り、「カノッサ修道女会」を創立(1808年)した。この修道会は日本には1951年来日し、世田谷、大牟田(福岡)、水俣(熊本)、大口(鹿児島)で、学校教育・社会福祉活動に貢献している。





4月のお知らせ



★聖週間のお知らせ★

- 13日(日)(受難の主日) 9時30分より
- 17日(木)(聖木曜日) 19時30分より
- 18日(金)(聖金曜日) 19時30分より
- 19日(土)(復活徹夜祭) 19時30分より
- 20日(日)(復活の主日) 10時より

★納骨堂委員からのお知らせ★

4月27日(日)ミサ後に、納骨堂利用者集会を開催します。納骨堂を利用している方は、是非ご出席をお願いします。

★信徒総会★

5月11日(日)に信徒総会があります。是非、都合をつけて出席をお願いします。



教会学校のページ



2月23日

- 『隣人に自分はどんなことができるかな?』を一人ずつ発表しました。
- 「ちいさなひとびとの」「ごらんよ空の鳥」の2曲をみんなで歌いました。

3月 9日

- イエス様が40日間断食の後で悪魔の誘惑を受けられたとき、一つ一つどのようにお答えになったか話し合いました。
- 四旬節の意味について話し合いました。
- カリタスジャパン製作の貯金箱になる折り紙用紙を色塗りしました。各自持ち帰り完成させ、四旬節の間困難の中にいる人のために募金して復活日に持ってくるよう詰めました。

